

◇くらしセンターべしみのリーフレット

◆年表

- 1978. わらじの会結成
- 1980. スウェーデン福祉体験旅行
- 1981. スウェーデンRBUを招き県内各地で交流
- 1984. 新坂光子さん自立生活演習
春日部市役所まで車椅子行進し要望書渡す
- 1985. 「体外受精を考える会」、越谷市役所に質問状
- 1987. 第一回「総合県交渉」
石川しげりさん、越谷養護から地域の学校へ
わらじの会独自の有料ケアシステム作る
- 1988. 障害児の高校入学求め知事応接室を4日間占拠
- 1990. 新坂姉妹分家一生活ホーム「オエヴィス」発足
「ケアシステム・わら細工」発足
- 1991. 重度障害者職業自立の店「ぶていっく・ぶあく」
オープン
JIL発足。「CIL わらじ」として加盟
- 1992. 「わらじ自立生活センター総合協議会」行う
社団法人「埼玉障害者自立生活協会」設立
- 1994. 社会福祉法人「つぐみ共生会」認可
- 1995. 「ディケア・パタパタ」オープン
生活ホーム「もんでん」オープン
「くらしセンターべしみ(通所授産施設)」開所
- 2002. 情報センター「かがし座」開設(春日部市大場)。
- 2005. 越谷市障害者就労支援センター発足。NPO 法人
「障害者の職場参加をすすめる会」が受託
- 2008. 防災街づくり目指し、山田太一・小室等両氏招
いて「ゆめ風ライブ in 越谷」
- 2012. べしみ、生活介護事業に移行

「障害者のため」の施設ではなく
障害があってもなくても
地域で暮らす私たちが
交わる場として



〒343-0037
埼玉県越谷市恩間新田 249
TEL/FAX 048-975-8511 / 048-975-8533
Email beshimi@saturn.plala.or.jp

◆「くらしセンターべしみ」とは？

「障害があってもなくても地域でともに」をスローガンに活動を続けてきた「わらじの会」を母体として、1995年に越谷・恩間新田の地に建設された。

かつては農村と沼地が広がっていた恩間新田周辺は、1960年代に「東洋一の団地」と言われた武里団地が建設され、急速に都市化していった。

その団地郡で暮らす障害児・者の活動が、ほどなくして恩間新田で暮らす新坂きみ子さんら、先住の障害者たちと会うことで、わらじの会は生まれた。

わらじのメンバーがきみ子さんを迎えに行くたび、父は「昨夜もきみ子の首を絞めた」と漏らしたと言う。昼は老人施設で暮らす妻を介助し、夜は娘のきみ子さんの介助で煮詰まる父であったが、「首を絞めた」という事を隠すことなく話せる相手がいることが、一つの逃げ道でもあり得た。

きみ子さんの父は、亡くなる前に土地をわらじの会に寄付する。その土地に、きみ子さんの住まいである生活ホーム「もんでん」と、活動拠点の「くらしセンターべしみ」が建設された。

父との経験がそうであったように、施設の中だけの閉ざされた人間関係を作るのではなく、地域に開かれた場所として、また、街に出て行く拠点として、今もべしみの玄関は開かれ続けている。

「くらし」のセンターとして

まなびあう

はたらき



重度障害者だって、
地域で暮らそう！
「できる」は問題じゃない！
「やる」か「やらないか」だ！

